

# 中国法定感染症発病概況 2017年6月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.  
リサーチ・コンサルティング部門

## ■発病総数は前月比+18.4%

当月発病総数は802,079例であり、前月比+18.4%と、前月から引き続き増加。過去同月比で比較すると、過去平均（過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均）比は-2.4%と3ヵ月連続してマイナスとなったが、過去平均標準偏差（SD）は、-0.2であり、発病総数自体は例年と同程度である。（図表1、図表2、図表3、図表4）

## ■甲乙類は例年より多く、丙類は前月比+34.7%

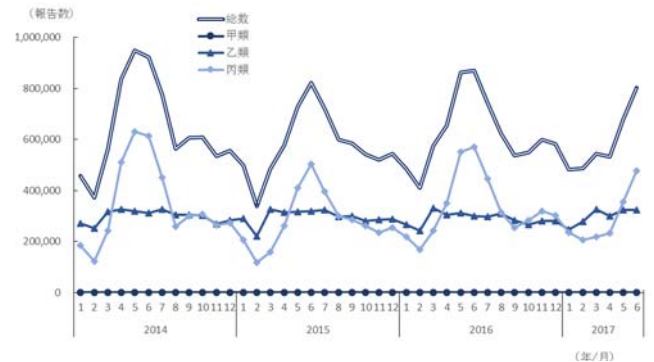
類型（甲乙丙）別<sup>\*1</sup>にみると、甲類では、前月、コレラが3例報告されているが、当月での甲類の発病はない。

乙類は325,015例あり、前月比+0.5%。乙類の発病数は月次での変化率が小さい。過去同月比では、過去平均比+4.0%で、過去平均SD+1.2であり、例年に比べ乙類発病数は多い。また、前月から2ヵ月連続で、過去平均SDが+1.0を超える状況にある。

丙類は477,064例あり、前月比+34.7%と増加。ただし、過去平均SDは-0.4であり、丙類発病数は例年と同程度である。（図表1、図表2、図表3、図表4）

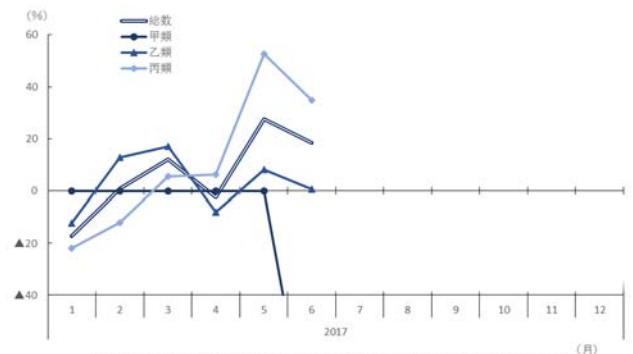
\*1) 中国は、39の感染症を甲類2（ペスト、コレラ）、乙類26、丙類11に分類。2013年11月1日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザA(H7N9)を追加。2016年1月からは、ウイルス性肝炎の内訳にD型肝炎を追記。（本資料のウイルス性肝炎は、A型、B型、C型、D型、E型、および、その他肝炎の合算。）

図表1 発病数



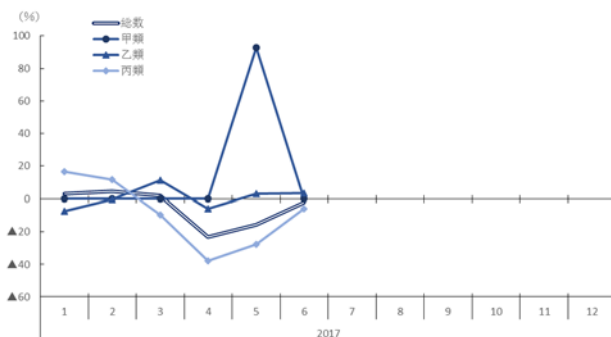
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表2 発病数（前月比）



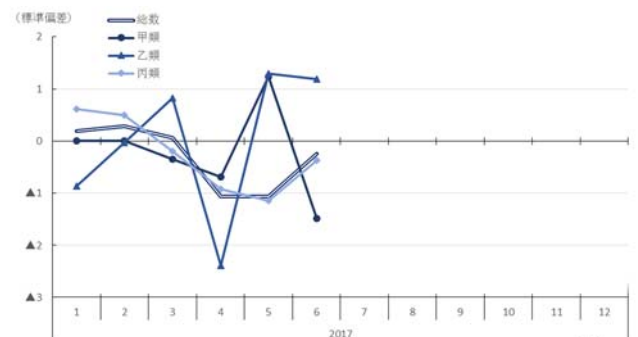
(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表3 発病数（過去平均比）



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成  
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

図表4 発病数（過去平均標準偏差）

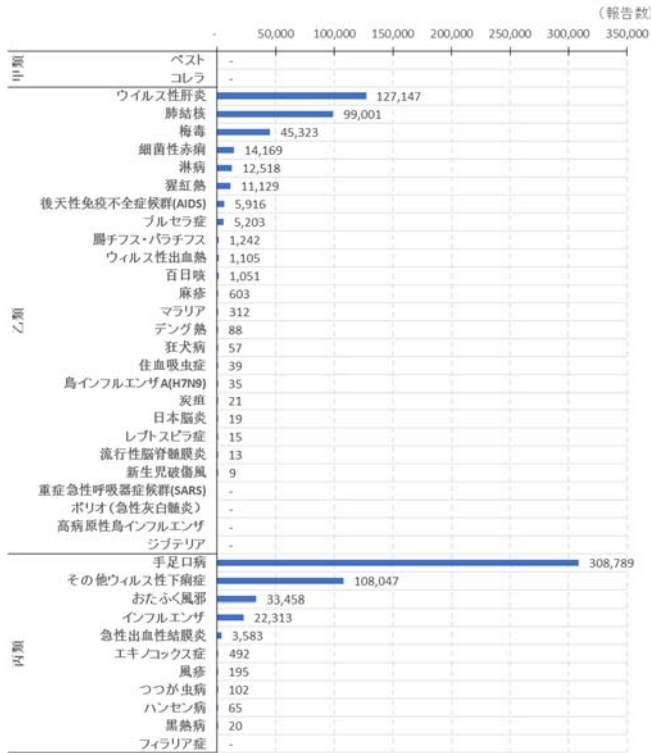


(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成  
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

■手足口病の当月発病数は最も多いが(前月比+97,600例)、発病数は例年と同規模

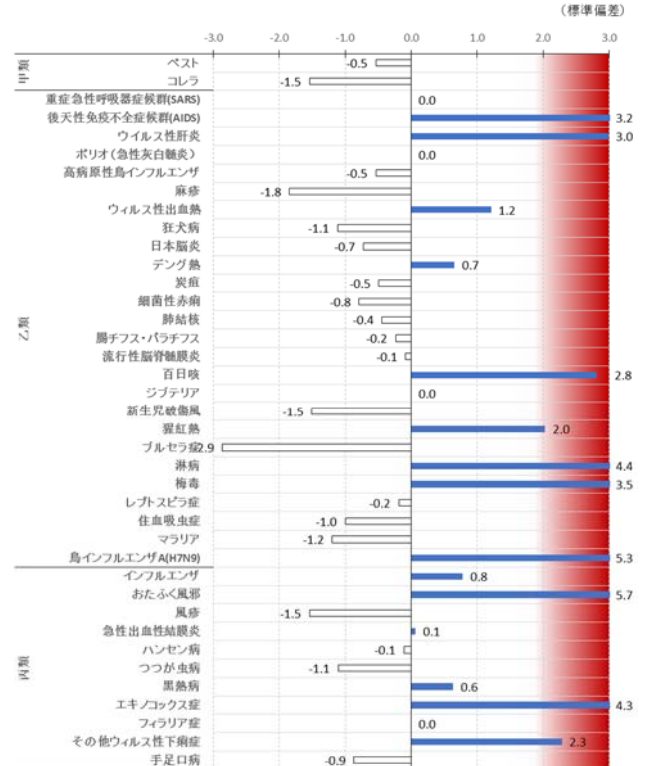
感染症別では、手足口病が308,789例と最も多く、前月+97,600例で、前月比+46.2%。前月同様に、手足口病の増加が当月の丙類、ならびに発病総数増加の主要因。ただし、手足口病の過去平均SDは-0.9であり、発病数自体は例年と同様の傾向である。(図表5、図表6)

図表5 発病数(前月比)  
〈 当月発病数順(降順) 〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成

図表6 発病数(過去平均標準偏差)  
〈 法定感染症統計記載順 〉



(資料) 中華人民共和国国家衛生計画生育委員会「全国法定伝染病発病概況」を基に日本総研作成  
(注) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均

■例年に比べ、当月非常に多く発生した感染症は10

例年に比べ、当月非常に多く発病した(過去平均SDが+2.0を超えた)ものは10例。(1)おたふく風邪、(2)鳥インフルエンザA(H7N9)、(3)淋病、(4)エキノコックス症、(5)梅毒、(6)後天性免疫不全症候群(AIDS)、(7)ウイルス性肝炎、(8)百日咳、(9)その他ウイルス性下痢症、(10)猩紅熱。

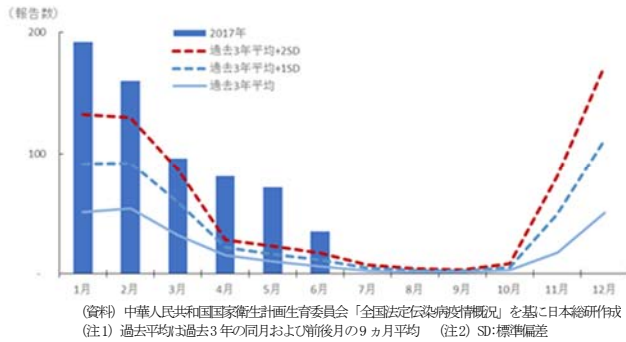
前月からは、デング熱が外れ、新たに、後天性免疫不全症候群(AIDS)とその他ウイルス性下痢症の2つがSD+2.0を超えた。(図表6)

■鳥インフルエンザ A は減少傾向、おたふく風邪が増加

鳥インフルエンザ A (H7N9) は 35 例で、2017 年 1 月から当月まで連続して過去平均 SD が +2.0 を超えて推移。ただし、発病数は減少傾向にある。(図表 7)

おたふく風邪は 33,458 例あり、前月から 2 ヶ月連続して SD+2.0 と例年に比べ非常に多い状況が続いている。(図表 8)

図表 7 発病数 (鳥インフルエンザ A (H7N9))



図表 8 発病数(おたふく風邪)



本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではない。また、2017年7月12日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、情報の正確性・完全性を保証するものではない。